

平成 28 年度 福島大学大学院人間発達文化研究科(3 次募集)入試問題

専攻(領域)名	地域文化創造(スポーツ健康科学)	科目名	スポーツ健康科学
---------	------------------	-----	----------

受験番号	
------	--

以下の問題1～問題9の中から1つを選択し、解答しなさい。

- 問題1. 「ドッジボールは他人にボールをぶつける野蛮なスポーツであり、いじめにつながりやすいから学校体育で行うことを禁止にすべきだ」という意見がありますが、あなたはこの意見に対して、またドッジボールの教育的意義についてどう考えますか。あなたの考えを論理的に述べなさい。
- 問題2. 体操伝習所設立の経緯と目的について述べなさい。
- 問題3. 「有能感」の育成という観点から、少年期のスポーツ指導の在り方について論述しなさい。
- 問題4. 球技運動における「運動技術の構造」について、具体的な例を挙げて説明しなさい。
- 問題5. 中学校の創作ダンスの学習で、「ひと流れの動き」をつくる方法を具体的にあげ、作品に発展させる展開例を示しなさい。
- 問題6. スポーツコーチングに必要なコーチのコミュニケーションスキルについて3つ挙げ、その内容と使い方を具体的な事例を用いて説明せよ。
- 問題7. 競技的状態の発達段階とトレーニング周期の関係について、スポーツ種目を例に挙げて説明し、合わせて、一時的に競技的状態が消失する理由を述べなさい。
- 問題8. 2010年に「アメリカ心臓協会 心肺蘇生と救急心血管治療のためのガイドライン 2010」が発表された以降、心肺蘇生法が大きく変わった。このガイドラインに則った日本赤十字社における成人に対する現行の「一次救命処置」について、「手順」および「その方法」を述べなさい。
- 問題9. 運動時の骨格筋の疲労のメカニズムについて、高強度運動と低強度運動とに分けて説明しなさい。また、その筋疲労のメカニズムがトレーニングすることによってどのように変化・適応するのか説明しなさい。